

重点目標と具現策

- 1 自ら学ぶ子を育てる。
 - (1) 学習習慣・学習規律（話す・聞く）と基礎的・基本的な学習内容の定着
 - (2) ユニバーサルデザインを意識した授業実践（分かる・できる・楽しい授業）
 - (3) 学力向上に向けてタブレット・電子黒板等を効果的に活用する授業の工夫
- 2 正しく判断する子を育てる。
 - (1) 道徳教育の推進と学校内外のきまりを守る指導
 - (2) 明るい挨拶や履き物そろえ、椅子入れ、だまって掃除をする指導
 - (3) 自分がされてうれしいことをしたり言ったりする指導
- 3 がんばる子を育てる。
 - (1) 自己肯定感をもたせる指導「褒めて伸ばす」
 - (2) 心と体を鍛える体育、清掃、行事、福祉体験活動、課外活動の充実
 - (3) 早寝・早起き・朝ごはん、歯磨きの指導
- 4 家庭・地域社会と連携する。
 - (1) 学校からの便りやHP、学校評価の活用
 - (2) 自他の安全を守る意識や対応力の育成
 - (3) 認定こども園、吉海小・大島中との連携強化

学校運営上の留意点

- 1 人的管理
 - (1) 教育公務員としてのサービスの厳正と信用保持を徹底する。
 - (2) 温かい人間関係を基盤とした協働体制を確立する。
 - (3) 業務改善を図り、心身の健康管理を推進する。
- 2 物的管理
 - (1) 定期的な安全点検と的確な安全対策を行い、事故防止に努める。
 - (2) 施設・設備、備品の整備と有効活用に努め、教育効果を高める。
 - (3) 薬品管理を厳正に行う。
- 3 事務管理
 - (1) 文書等の迅速・正確な処理に努める。
 - (2) 公文書、個人情報、金銭の厳正な処理・管理を徹底する。
 - (3) 校務処理の効率化に努める。
- 4 学校運営協議会
 - (1) 大島地区学校運営協議会の意見を受け、学校運営の改善及び児童の健全育成に取り組む。
 - (2) 大島地区の3小中学校で協力し、地域（ふるさと）を誇りに思う子どもの育成に努める。
 - (3) ふるさとを愛し、支え、文化の伝承に貢献する子どもの育成に努める。

本校教育の特色と展開

宮窪町は、大島石の産地として知られるとともに、漁業も盛んである。過疎化・高齢化が進む中、能島城跡、村上海賊ミュージアム等、地域の特色を生かした観光にも力を入れている。

本校は、宮窪町の自然や文化のよさを教育活動に取り入れ、保護者や地域の協力を得ながら、自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成に努めている。また、大島地区学校運営協議会の設置により、運営協議会の意見を受けるとともに、大島地区の3小中学校で協力しながら、地域を誇りに思う児童の育成にも取り組んでいる。

- 1 地域のよさを児童が実感できる体験活動を推進する。（地域文化、水軍太鼓、福祉体験活動等）
- 2 教職員が共通理解を図って指導に当たり、自己肯定感や規範意識を育て学力の向上を図る。（挨拶、履物そろえ、椅子入れ、だまって掃除、学びの週間、スキル学習、検定テスト等）
- 3 地域や保護者の理解・協力を得るための情報発信に努める。（学校・学年便り、HP等）
- 4 地域人材による学校支援体制の構築と働き方改革の理解促進に努める。（大島地区学校運営協議会、学校支援ボランティア、宮窪子どもまもり隊等）